

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会  
平成 22 年度 第 6 回常任理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 22 年 9 月 2 日 午後 6:30～午後 8:10
  - 2.開催場所 日本大学経済学部本館 2 階会議室
  - 3.理事総数 10 名
  - 4.出席者数 6 名（書面表決書 2 名）  
出席者（佐藤文宏、保原幸夫、山西哲郎、宇佐美彰朗、高橋慎一、田村祐司 敬称略）  
書面表決書（野口勝宏、岡田英孝 敬称略）
  - 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回常任理事会（8 月 11 日開催分）議事録に関する件（報告）  
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について（報告）  
議事録署名人として山西哲郎氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第 3 号議案 定款変更の認証について  
保原氏より定款変更に関する審査が終了し、7 月 12 日付で認証連絡があった旨、報告があった。それに伴う内閣府向けの書類提出および法務局への登記も終了した。
- 第 4 号議案 「2010メルボルンマラソン」について（報告・審議）  
保原氏より進捗状況について報告があり、今後の進め方について審議を行った。
- 申し込み状況
- ・現時点での参加申込者は 30 名で、これにクリールの樋口編集長、モニターランナー、河口湖の招待選手等を加えても 30 名 +  $\alpha$  となり、最低目標の 50 名を大きく下回っている。
- 各社ツアーの進捗状況
- ・ J T B は 2 名申込があったが、エントリーは直接事務局に申し込んでいるので、事務局申込者の内数となる。
  - ・ 高橋氏の海外旅行開発を始め、日通旅行、H I S の各社は現状 0 である。
  - ・ その他、兵庫の山南観光、東京のパーパスジャパンの 2 社も現状 0 である。
- 日本事務局収支予算
- ・あと 1 カ月あるが、参加者 50 名は難しい状況になってきた。そうすると、本部からの追加補助金 \$ 4,000 がなくなる。それに加えオフィシャルツアー参加者が 0 のため海外旅行開発からの協賛金が 0 になる。その結果収支予算は 44 万円程度の赤字になる。
  - ・対応として、収入側としては政府観光局分の \$ 2,000 について補助して頂けないか折衝するとともに、支出側としてはホームページ作成費用、交通費、事務所経費等の削減あ

るいは支払い延期等についての折衝を行うことになった。(添付資料参照)

- ・いずれにしても、今後の事業で赤字を補填していかなければならない。

■現地での活動

- ・モーニングラン、完走パーティについては、現地で活動している田上さんと情報交換をしながら現地ランナーに参加を依頼している。
- ・会場手配については、観光局をお願いしている。8月末時点での参加者を確認の上、確定する。
- ・昨年の反省を踏まえ、日本人向けの受付デスクを設置するので、サポートのアルバイトを雇う予定である。高橋氏より今回ツアー不成立のため同行できないので、アルバイト代は負担しても良いとの提案があった。

第5号議案

「2011アラフラゲーム」、「アラフラクラブ」について

■保原氏から8月20日に行われた第4回幹事会の報告があった。

- ・団体競技としてはクリケット、オーギー・フットボール、ネットボール、セパタクロー、個人競技でもサイクリングは参加の意思が確認できたが、正式種目になっていないものが含まれているので、正式種目あるいはオープン種目として貰うよう、代表者会議で要望することにした。
- ・従来参加していた競技以外の団体にも広く募集するためのチラシを作成することになった。素案は岡田繁氏が作成した旅行日程および旅費案を参考に、岡田英孝氏が作成することになった。ただし、パラリンピック関連の旅行手配をこれまでJTBが行っていたことも考慮し、協力体制も視野に入れることになった。JTBへの説明は実施済みであり、社内で検討後、連絡を頂くことになっている。
- ・次回、9月21日に第5回幹事会を予定。参加募集の方法を中心に話し合う。

■山西氏から8月27日に上海でおこなわれた代表者会議の報告があった。

- ・東アジア地域の会議で、日本のほか中国、台湾、香港および主催者であるオーストラリア・ノーザンテリトリーが参加して行われた。
- ・日本からの提案・要望については前向きに検討するとの回答を頂いた。
- ・連絡先がわからなかったムエタイについては、タイの協会が全体をまとめているので、タイの協会に連絡をとるよう提案があった。

■山西氏から玉村町の取り組みについて説明があった。

- ・9月30日に玉村町役場で、町長、リチャード氏(クリケット)、神山氏(ネットボール)と今後の進め方について打合せを行う。
- ・玉村町からアラフラゲームに視察団を派遣してもらうよう要望する。

第6号議案

その他

■会費納入依頼について(報告)

一般会員に対しては、総会議事録と一緒に平成22年度分年会費納入依頼の手紙を7月に郵送したが、納入が確認できたのは1名だけである。もう1~2ヶ月ぐらい待って、督促するようにすることにした。未納入の理事に対してはメールで再度納入依頼を行った。

■今後の事業の具体化について（報告・審議）

「市民ランナー交流セミナー」については東京マラソン財団の公式行事として開催できないかどうか、山西氏が帖佐理事長に打診することになった。

具体的内容については、その結果を踏まえて次回以降に検討することになった。

■次回常任理事会について

次回の常任理事会は、9月27日（月）に開催する。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時10分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成22年9月2日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長

統藤文宏



議事録署名人

山西松一郎



議事録署名人

保原幸夫

